

全日本対抗戦 出場権を獲得 ゴルフ男女共

ゴルフの関東大学秋季対抗戦が9月19日、20日に栃木県サンヒルズクラブで行われ、女子は4位となり、全日本大学ゴルフ対抗戦への出場権を獲得した。

初日は2位と好調だったが、後半は周りのチームの実力におされ、順位を保てなかった。石原絵里奈主将(商4・北海道工高)は「今後は周囲に影響されることなく自分たちのプレーが出来るように頑張りたい」と試合を振り返った。

また、男子の同大会は、9月9日から13日まで福島県・棚倉田舎クラブで争われ、女子と同じく4位。男子は3位以上が出場権獲得となるため、全日本大学ゴルフ対抗戦への出場権を一度は逃してしまったが、10月1,2日に行われた予選会を1位で通過し、全日本へのキップを手にした。

(高橋奈津子・文2)

[10月15日/ニュース専修15面]

本選出場への手ごたえ確か 第79回箱根駅伝



第79回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)の予選会が10月19日、東京・立川市の国営昭和記念公園で行われる。

専大は今年、4年ぶりに本選に出場したものの、上位9校に与えられるシード権を獲得できず、今回も予選会からのスタート。1チーム12人が各自20キロを走り、上位10人のタイムを合計、合計タイム上位6校が本選

への切符を手にする。

今大会から出場枠が5増え20チームに拡大される。選考方法は5月の関東学生対校選手権と予選会の結果をもとに計算した記録の上位4校が出場権を獲得する。さらに本選に参加出来ない大学の選手による選抜チームが1枠となる。

今年“出雲”、“全日本”に出場出来なかったため、選手の箱根にかける思いもひととき強く、期待がもてる。福島啓介主将(法4・玉野光南高)、エース・行友誠(商3・宇部鴻城高)を中心に、2年連続60回目の本選出場を目指す。

(染谷 智子・文1)

[10月15日/ニュース専修15面]

初優勝へ快進撃 バスケット関東女子学生リーグ戦 最終週 日体大と対戦



バスケットボールの関東女子学生リーグ戦が9月7日から駒沢屋内球技場などでスタートし、専大は10月6日現在、11勝1敗と快進撃を続け、最終週に初優勝をかけて日体大と対戦する。開幕3連敗であった昨年とは違い、今年は開幕4連勝し波に乗った。

9月29日に行われた対早大戦でもその勢いを見せつけた。前半、長南真由美(経営2・山形市立商高)のインサイドプレーを中心に得点を重ねるものの点差は開かず、第2Qに入ると逆転を許す。後半、苦しい時間帯が続くなか、長南の連続シュートからペースをつかみ、川村良子(文2・東京成徳大高)の連続3Pシュートで逆転。この勢いで一気に突き放し、勝利した。今大会の専大は、我慢強く、勢いがある。最終週の日体大戦でもこの『粘り強さ』を見せてほしい。

(文・写真 山室 綱寛・文2)

[10月15日/ニュース専修15面]

全日本学生ローラースケート 男子が総合優勝

全日本学生ローラースケート選手権が9月27日から29日まで長野県・鳥居平やまびこ公園ローラースケート場で行われ、専大は男子が総合優勝、女子が総合2位の好成績を飾った。

この大会は300メートルタイムレースや1600メートルリレーなどのスピードスケート部門とトーナメント形式で行われるホッケー部門の両部門のポイント合計で順位を競う。

男子はスピード部門で1位、ホッケー部門で2位と実力を発揮。女子はスピード部門で1位となるも、ホッケー部門は4位に終わった。

(幸脇 健太・文2)

[10月15日/ニュース専修15面]

男子フルーレ 団体優勝 阿部が個人準優勝 関東学生フェンシング新人戦

フェンシングの関東学生新人戦が9月26日、27日に駒沢体育館で行われ、フルーレ男子・団体が優勝、同個人戦で阿部秀嗣(経済1・今別高)が準優勝など活躍した。

団体戦は初戦で日体大に、準決勝では早大に圧勝。決勝は中大と対戦。最後までどこが勝つか分からない流れの中、持ち前の総合力で中大を下した。個人戦では、阿部は初戦から自分のペースで試合を運び、準決勝の法大・小川との対戦は快勝。決勝は中大・木辺と対戦したが、相手の動きを崩せず惜敗。

阿部は「今後も今以上の力で戦っていけるように頑張りたい」と抱負を語ってくれた。

(佐山 美貴・文2)

[10月15日/ニュース専修15面]